

平成28年第2回帯広市公営企業経営審議会 議事録要旨

日 時 : 平成28年9月16日(金) 午前10時

場 所 : 帯広市役所10階第6会議室

議題(1) 平成27年度決算状況について

- | | |
|-----|---|
| 委員 | ペットボトルの在庫状況について。 |
| 事務局 | 概ね30,000本程度を災害用として備蓄しています。 |
| 委員 | 緊急貯水槽はどのくらいの震度まで強度があるのか。 |
| 事務局 | 帯広にも活断層があり震度7程度と言われていますので、それに耐える強度のもので作っています。 |
| 委員 | 災害時に給水をする定義はあるのか。 |
| 事務局 | 原則として水道が止まって断水した時です。 |
| 委員 | 配水量が増えた要因として気候をあげているが、他の要因は考えられるのか。 |
| 事務局 | 気候の他には人口は減っているが、世帯数が増えていることも一つの要因と考えられます。
引き続き気候も含めて分析は進めていきます。 |
| 委員 | 今回の台風でも道路が冠水したところがあったが雨水枡を増やす計画はあるのか。 |
| 事務局 | 今年度浸水シミュレーションを導入して、今回の台風のデータも含めて解析中です。
その結果を見て道路を担当している道路維持課の方とも協議しながらそういう手法をとれないか検討中です。 |

議題（２）単体ディスポーザ（排水設備）基礎調査について

委員
事務局

生ごみのうち半分くらいしか捨てられないとのことだが、どのようなものが流せないものなのか

卵の殻、貝殻、とうもろこしの芯、鳥の皮、魚の骨等が流せないものになります。

委員
事務局

実際につけた人の経験は聞いているのか。

実際に設置しているところでは排水管が２年に１回ほど清掃が必要というお話は伺っています。

生ごみを粉砕する時に水を使用しますので、水を少なくすると流れづらく支障があるということが考えられます。

また、国で実証実験をしている地区では適正に使用すれば問題ないという報告は受けております。

委員
事務局

帯広市も推奨したいということなのか。

砕いた生ごみを水と一緒に流す単体ディスポーザの設置を認めた場合は、使いたい方はつけても構いませんという制度で、皆さんにつけてくださいということではありません。